

消費のデジタルシフトでユーザーに求められるアプリとは？ ～ DX改革で、リテール業界のアプリ開発・運用をデータから考える ～

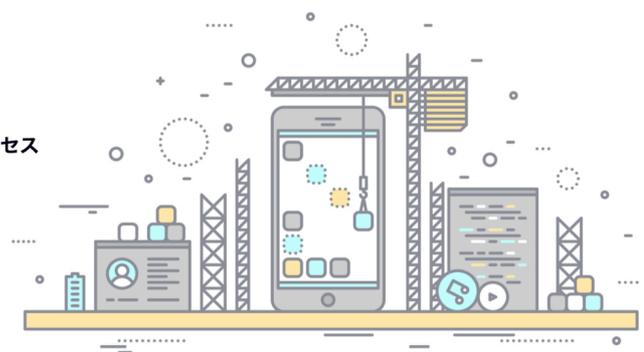
消費のデジタルシフトでユーザーに求められるアプリとは？

DX改革で、リテール業界のアプリ開発・運用をデータから考える

日時：2020/06/25(木) 15:00-16:00 会場：オンラインセミナー



フルー株式会社
マーケティング本部 カスタマーサクセス
高橋 智計



アプリ分析プラットフォーム「App Ape（アップ・エイプ）」を手がけるフルー株式会社（本社：千葉県柏市、代表取締役：渋谷 修太・櫻井 裕基、以下 フラー）は、2020年6月25日（木）、リテール業界のアプリ開発・運用をアプリ分析データから考えるオンラインセミナーを開催いたします。

アプリ利用データから食と人の未来を考えるセミナー

コロナ禍で、消費がデジタルシフトしている今、リテール業界ではアプリの開発・運用について考える機会が増えたのではないのでしょうか？また、アプリの運用が会社のコストとならないために、アプリの目的・機能を見直している方も多いのではないのでしょうか。

本セミナーは、リテール業界に携わる方の中で、アプリ開発をお考えの方、既にアプリを運用中の方、新規事業をお考えの方を対象として、アプリ分析データを元に、自社にあったアプリの役割の設計、適切なKPIの設定などを、事例とともに考えていきます。

▼お申し込みはこちらからお願いいたします。

<https://go.appa.pe/webseminar.20200625>

開催概要

日 時：2020年6月25日（木）15:00 - 16:00

会 場：オンラインセミナー（お申し込み後、メールにて参加URLをお送りします。）

参加費：無料

登壇者紹介



**フルー株式会社 マーケティング本部
カスタマーサクセス 高橋 智計**

1982年新潟県生まれ。

早稲田大学卒業後、2005年、株式会社小学館プロダクション（現小学館集英社プロダクション）に入社。イベントプロデューサーとして、雑誌、玩具、ゲーム関連のイベント企画・制作を担当。2015年3月に新潟県庁に入庁。広報広聴課で新潟県公式ポータルサイト「新潟のつかいかた」を立ち上げ。2019年6月にフルーに参画。

講演アジェンダ

1. リテールアプリの市場概況
2. ユーザー目線のアプリ開発のポイントとは
3. データドリブンに適切なKPIを設定するには

こんな方にオススメです

- ・ リテール業界のアプリ事業、アプリマーケティングに携わっている方
- ・ モバイルを活用したDXを推進したい方
- ・ 新規事業やアプリ開発を検討中の方
- ・ 既にお持ちのアプリ運用を見直したい方
- ・ データドリブンな意思決定を行いたい方

ご注意事項

※法人様対象のセミナーのため、個人でのお申し込みは受け付けておりません。

※主催企業と事業が競合する企業からのお申し込みは、お断りする場合がございます。

※プログラム及び登壇者は事前予告無しに変更する場合がございます。

App Apeとは？アプリユーザーを最も理解できるサービス

App Ape（アップ・エイプ）は、スマホアプリの実利用データを提供する、国内No.1*のアプリ分析サービスです。（*Fastask調べ）

テレビにおける視聴率情報のスマホ版のような位置付けで、どのアプリがいつ・誰に・どのくらい使われているかといったデータをご覧いただけます。データは国内のみならず、世界7カ国に対応しております。

スマホアプリの実利用データに加え、ストア情報や属性情報など横断的なデータを提供しており、市場・競合調査を始めとするアプリの企画・マーケティングに幅広くご利用いただけます。

アプリ開発会社や広告代理店・金融機関など、アプリに関わる法人・個人様にご活用いただいております。これまでに国内外5,000社以上の企業・団体様にご利用いただいております。



App Apeの詳細ページ：<https://ja.appa.pe/>

フルーについて

会社名：フルー株式会社

本店所在地：〒277-0871 千葉県柏市若柴178-4 柏の葉キャンパス 148-2 KOIL

設立日：2011年11月15日

代表者：渋谷 修太、櫻井 裕基

事業内容：アプリ分析支援事業、共創事業

URL：<https://fuller-inc.com>

本件に関するお問い合わせ先：広報窓口・丸七 pr@fuller.co.jp